

議題 3**県の地方創生関連事業との連携について****1. さが未来スイッチ交付金について****通常枠**

人口減少やこれに伴う地域の活力低下が顕著な地域を対象に市町が実施する、集落等の維持や活性化、あるいは地域コミュニティの充実強化に資する事業を支援するもの。

- (1) 対象地域 人口減少（H22～H27 間で減少）やこれに伴う地域の活力低下が顕著な地域
- (2) 対象事業 市町が行う事業（直轄事業又は地域に対する助成事業）
 - ① 区分 A 主たる目的がソフト事業であるもの
 - ② 区分 B 施設の整備・改修又は備品等整備の事業であるもの。

ただし、区分 B の額は区分 A と合計した交付金総額の 2 分の 1 以内の額であること。

- (3) 補助率 2 分の 1 以内（市町負担額を上限）
- (4) 実施期間 3 年間で予定（平成 28～30 年度）
- (5) 事業費 1 億円
- (6) 本市における活用状況

区分	事業名	事業費 (千円)	内訳
区分 A	【河内イベント開催】 農村交流推進事業	2,114	ソフト：8/19 自然観察会 97 千円 11/25 紅葉ふれあいイベント 1,247 千円 ハード：市民の森遊歩道整備工事 770 千円
	【お試し住宅取得】 定住・交流人口拡大 推進事業	862	ソフト：不動産鑑定委託料 216 千円、移住パン フレット製作 146 千円、居宅消耗品費 100 千円 ハード：居宅用家電・備品等 500 千円
	【基里地区土地利用】 土地利用構想調査	7,200	土地利用構想調査業務委託料
区分 B	【やまびこ山荘改修】 農村交流推進事業	5,500	滞在型農園施設改修設計業務委託料
	【お試し住宅整備】 定住・交流人口拡大 推進事業	4,500	お試し移住住宅の改修工事費
合 計		20,176	

(7) イベントへの参加状況（区分A：農村交流推進事業）

① 自然観察会

人口減少地域である河内町における交流人口拡大を図るため、コカ・コーラウエスト鳥栖市民の森、河内ダム、河川プールを活用した自然観察会を実施した。

- 日 時 平成 29 年 8 月 19 日（土）13：30～
- 場 所 コカ・コーラウエスト鳥栖市民の森
- 内 容 自然観察会、竹工作教室
- 参加者数（延べ）19 人 自然観察会参加者 11 人 竹工作教室 8 人

② 紅葉さんぼとリース作り

紅葉の時期に合わせて、コカ・コーラウエスト鳥栖市民の森で散策しながら自然の素材を集め、リース作りを行った。

- 日 時 平成 29 年 11 月 25 日（土）10：00～
- 場 所 コカ・コーラウエスト鳥栖市民の森
- 内 容 紅葉さんぼとリース作り、竹工作教室、九千部米のポン菓子配布
- 参加者数（延べ）63 人 紅葉さんぼとリース作り 48 人 竹工作教室 15 人

2. 佐賀県移住支援室との連携について

県では、平成 28 年度から佐賀県移住支援室を設置。さが移住サポートデスクとして、県庁 1 階・福岡デスク（毎週水曜）・東京デスクを設置し、仕事や移住に関する相談体制を強化している。特に、県では、人口集積が進む福岡都市圏を移住促進のメインターゲットと捉えられているため、本市への定住人口獲得に向けた考え方とも非常にマッチすることから、今後も連携強化を図っていく必要がある。

また、各種移住相談会等については、部会及び他部課の職員にも協力いただき、本市への移住・定住推進に関する全庁的な意識の醸成を図りたい。

(1) 平成 29 年度の連携事業（移住相談件数 合計 30 組 36 名）

- ① さが暮らし・ながさき暮らし UJI ターン移住相談会（H29.7.2（日）@有楽町・東京交通会館）
来場者数：73 組 112 人 鳥栖市ブース来場者数：11 組 15 人
- ② さが移住サポートデスク福岡への参加（H29.5.10、7.12、8.30@博多バスターミナル・毎週水曜）
鳥栖市ブース来場者数：3 組 4 名
- ③ さが暮らし☆しごと相談 inFUKUOKA（H29.9.30（土）@博多バスターミナル）
来場者数：26 組 34 名 鳥栖市ブース来場者数：7 組 8 名
- ④ さがながさき合同しごと・暮らし相談会（H29.11.11（土）@日本生命博多駅前ビル）
来場者数：37 組 45 名 鳥栖市ブース来場者数：3 組 3 名
- ⑤ 九州・山口・沖縄 移住&起業・就農フェア（H29.12.16（土）@アクロス福岡）
鳥栖市ブース来場者数：6 組 6 名